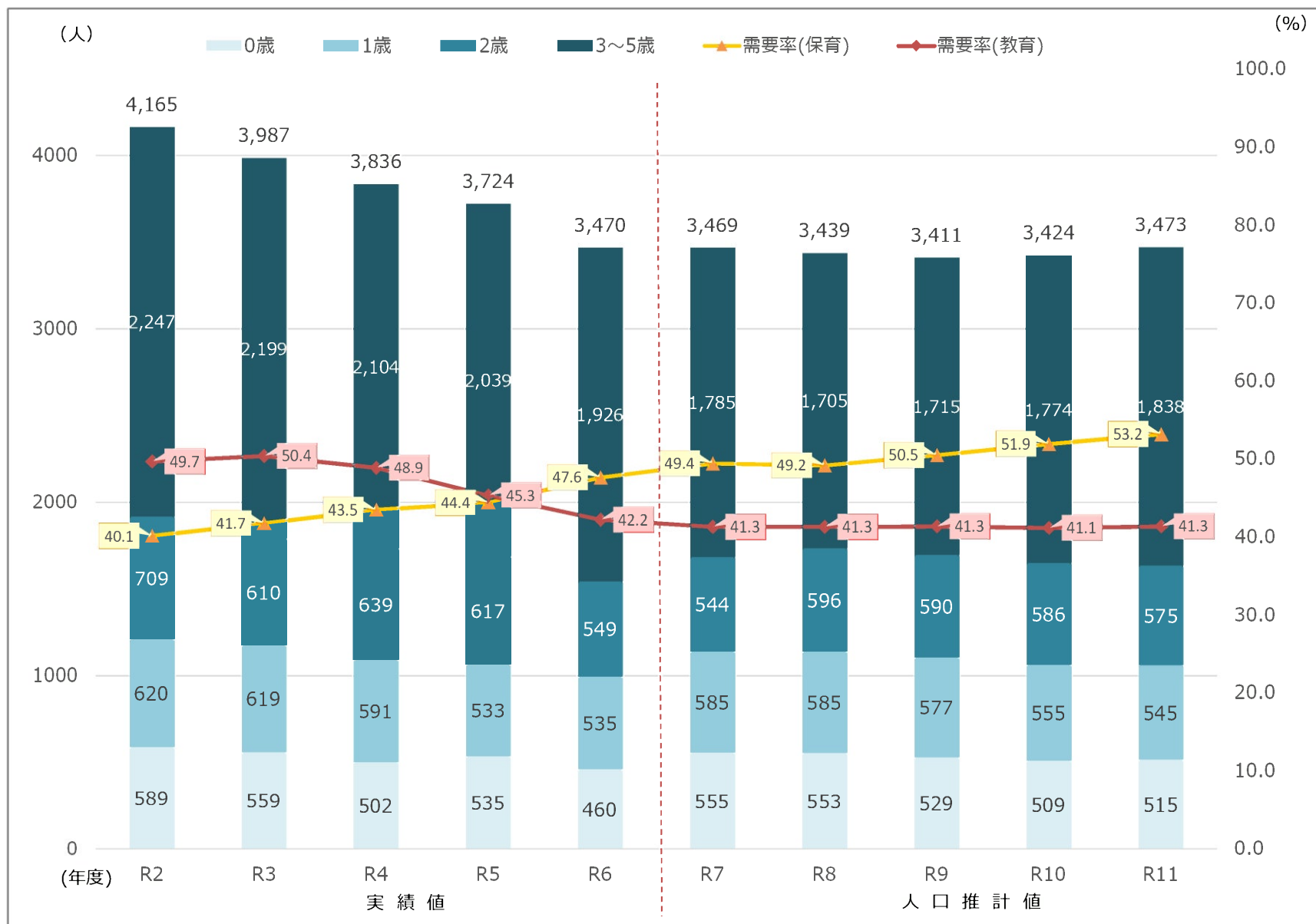


就学前児童人口と需要率*の推移

■ R7以降、就学前児童人口全体は概ね横ばい。それに伴い1号認定子どもは横ばい。2・3号認定子どもの人数は大きく増えないが、実績の傾向から需要率は増加する見込み



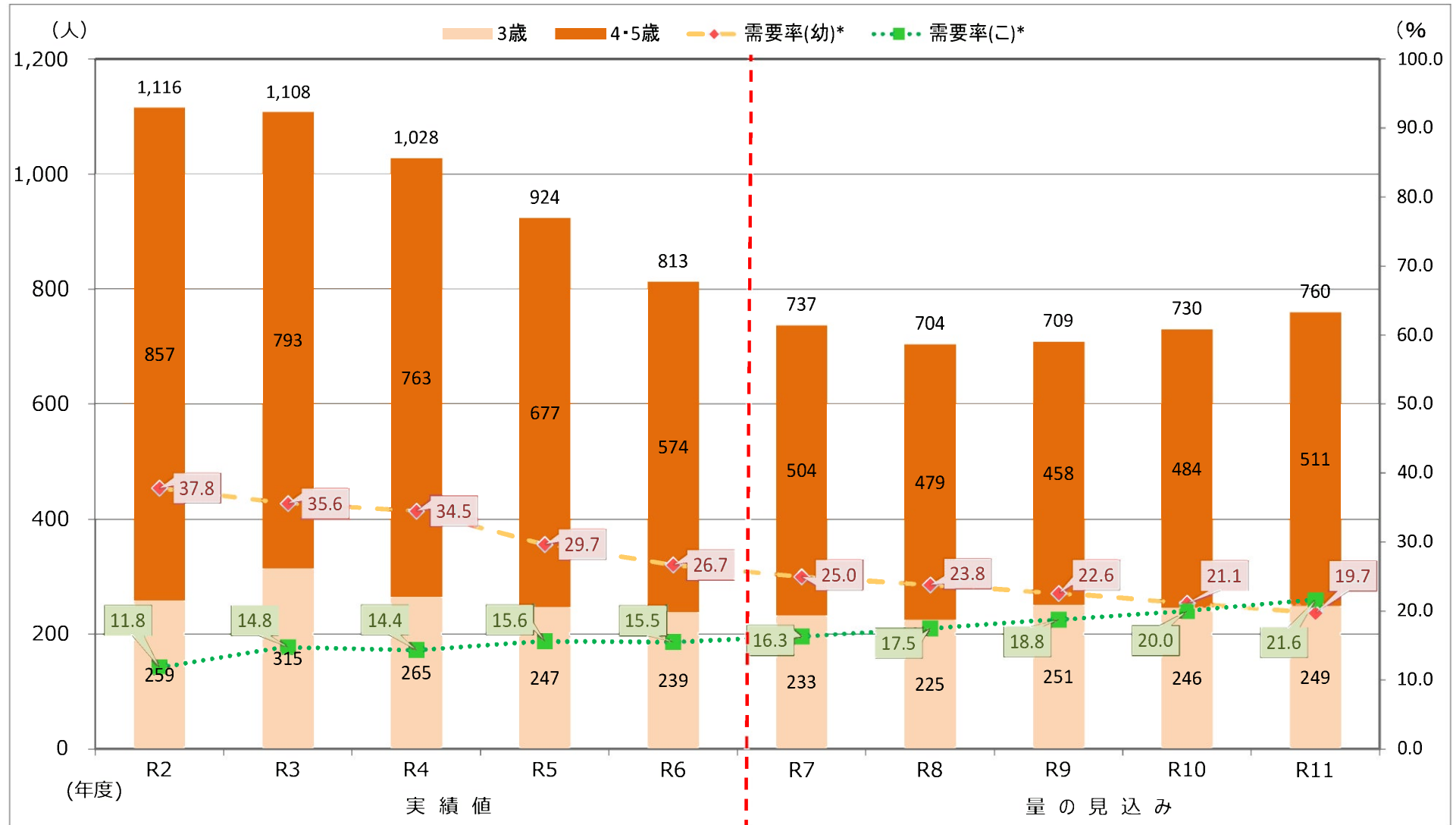
* 需要率(保育) = 「認定こども園在籍児童数(1号認定を除く) + 保育所等の入所児童数(2号認定・3号認定) + 入所待ち児童数」 ÷ 「就学前児童数(0～5歳)」

需要率(教育) = 「認定こども園在籍児童数(1号認定) + 幼稚園在籍児童数」 ÷ 「就学前児童数(3～5歳)」

(令和7～11年度はいずれも見込みの児童数)

【1号認定子ども】実績値と量の見込みの推移

■ニーズ量の見込みの確定にあたって
特筆すべき事項なし。



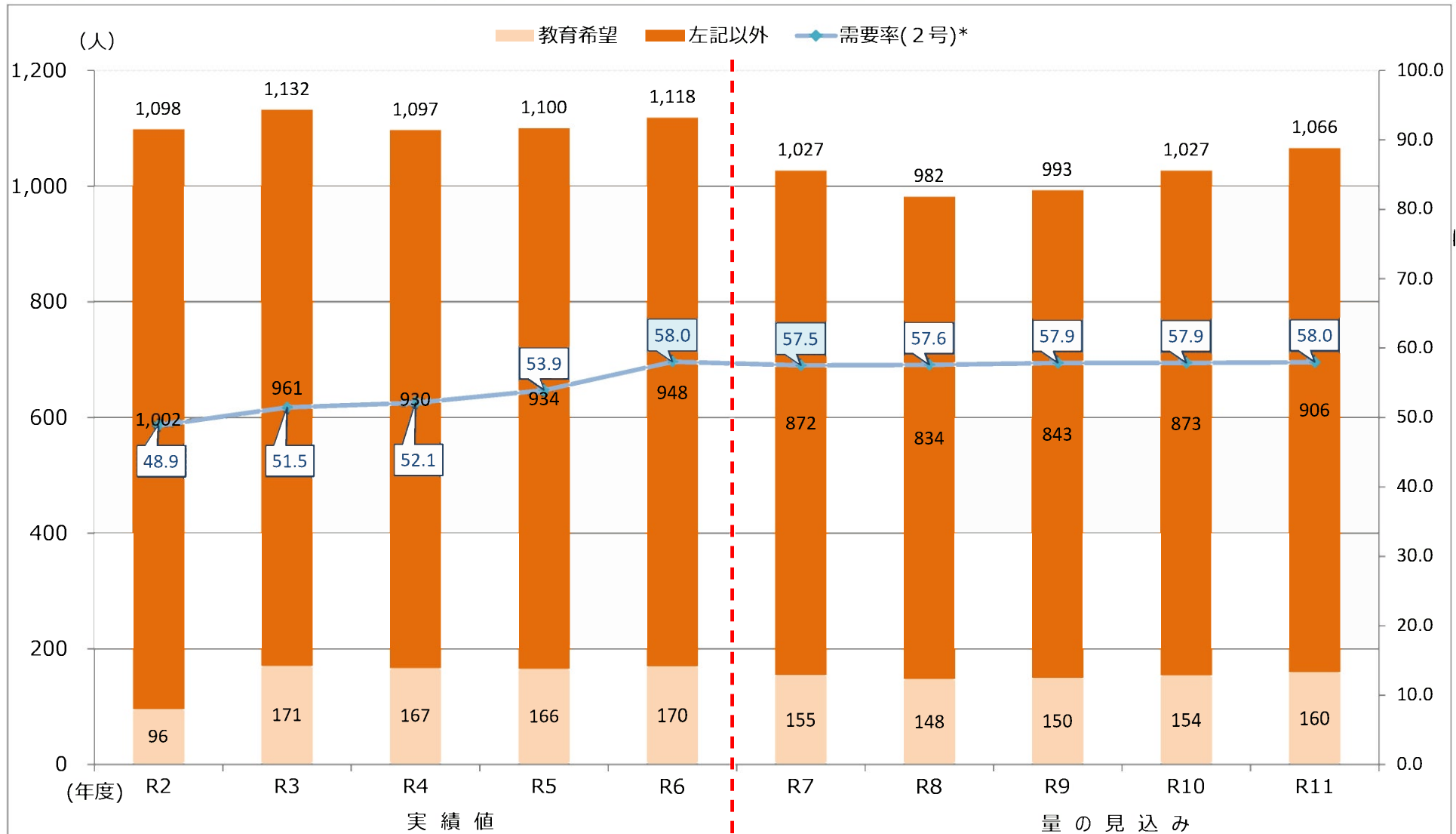
* 需要率(幼) = 「幼稚園在籍児童数」÷「就学前児童数(3～5歳)」
 需要率(こ) = 「認定こども園在籍児童数(1号認定)」÷「就学前児童数(3～5歳)」
 (令和7～11年度はいずれも見込みの児童数)

【2号認定子ども】実績値と量の見込みの推移

■ニーズ量の見込みの確定にあたって

ア：2歳児の量の見込みが、3歳児以上（2号認定子ども）に持ち上がりが可能となるよう設定した。（※第2期計画の内容に同じ。）

イ：令和7年度から令和11年度に向けて、需要率が増加するように設定した。（※これまでの実績の傾向を反映した。）



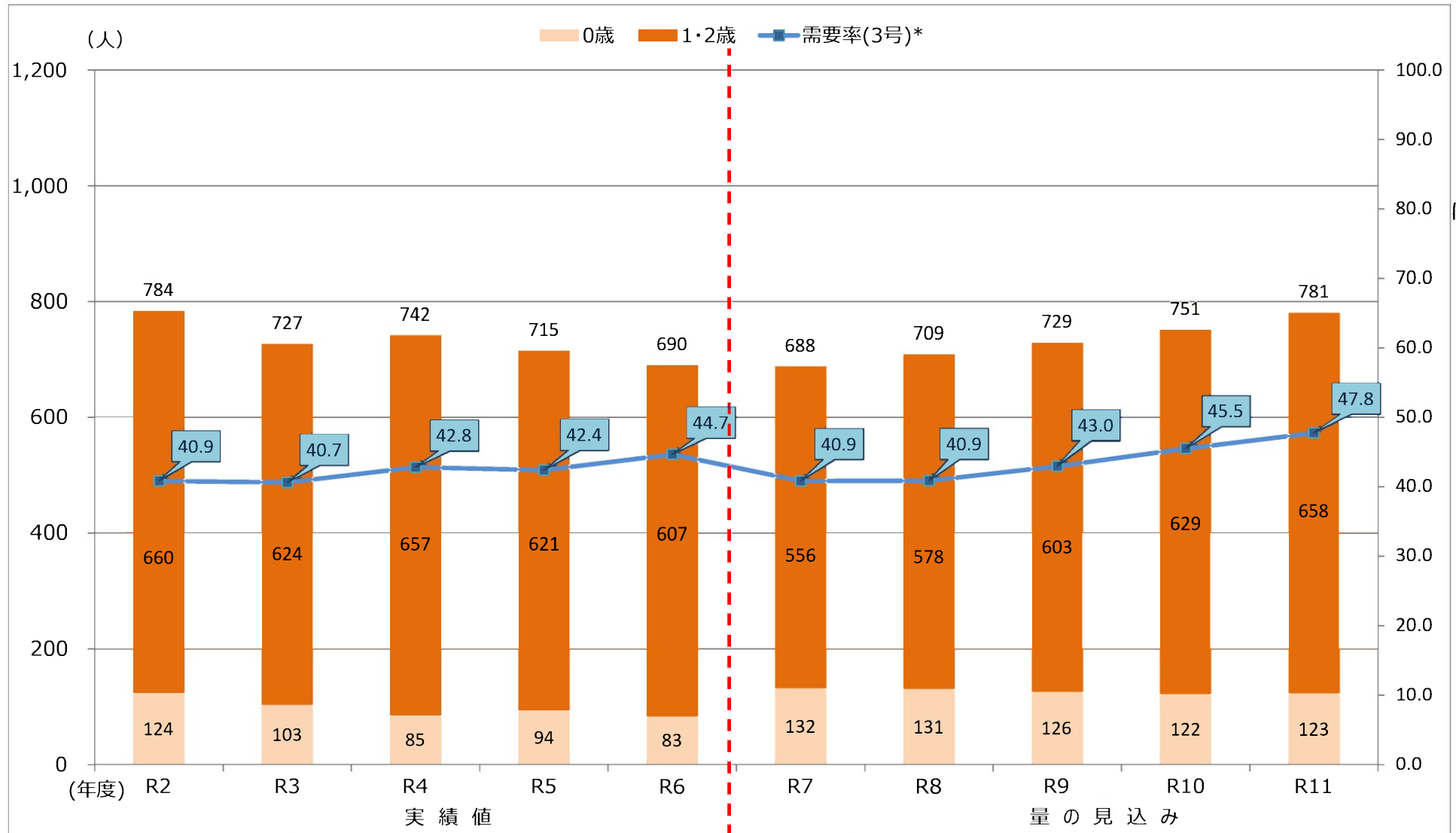
* 需要率(2号) = 「認定こども園在籍児童数(2号認定) + 保育所等の入所児童数(2号認定) + 入所待ち児童数」 ÷ 「就学前児童数(3～5歳)」
 (令和7～11年度はいずれも見込みの児童数、また、入所待ち児童数を含めない)

【3号認定子ども】実績値と量の見込みの推移

■ニーズ量の見込みの確定にあたって

ア：0歳については、母親の就労状況で、産休・育休・介護休業中の者の利用希望を除いた。（※第2期計画の内容と同じ。）

イ：令和7年度から令和11年度に向けて、需要率が増加するように設定した。（※これまでの実績の傾向を反映した。）



* 需要率(3号) = 「認定こども園在籍児童数(3号認定) + 保育所等の入所児童数(3号認定) + 入所待ち児童数」 ÷ 「就学前児童数(0～2歳)」
 (令和7～11年度はいずれも見込みの児童数、また、入所待ち児童数を含めない)